本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

時刻・時報・アラーム・リマインダー

1000

取扱説明書

1000

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買い上げくださいましてありがとうございました。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防　水　性●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR/ｍ無し	5BAR/50ｍ	10BAR/100ｍ	20BAR/200ｍ	30BAR/300ｍ
洗顔、雨	○	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○	○
ウインドサーフィン	×	○	○	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○	○

※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バ　ン　ド●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭きとることができます。

お手入れのしかた●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

お手入れを怠ると●「サビ」

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

温　　度●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障を来すことがありますのでご注意ください。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁　　気●磁気の影響はありません。

薬　品　類●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保　　管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消　　耗●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

カシオ計算機株式会社

RE0408020IA

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。

（押すごとに確認音が鳴ります）

※各モードでⓁ・Ⓐ・Ⓑボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

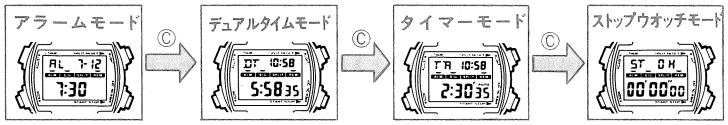
〈曜日の見方〉

SU－日
MO－月
TU－火
WE－水
TH－木
FR－金
SA－土



★リマインダーのON/OFF

時刻・カレンダーモードでⒶボタンを1～2秒間押し続けるとリマインダーがピッと音がしてON（"🔔"の点滅）/OFFします。これは注意を促したいときや心に留めておくことがあるとき点滅させておくと便利です。



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に１度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

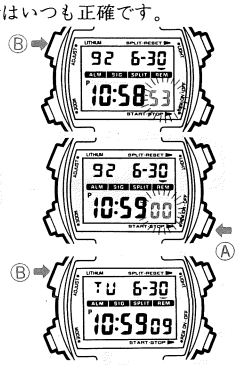
(1)時刻・カレンダーモードのときにⒷボタンを押して時刻セットモードにします。

(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは１分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードのときにⒷボタンを押して時刻セットモードにします。

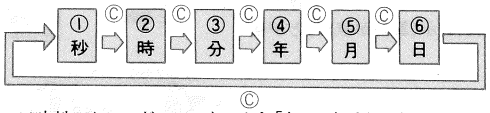
確認 ⇨ 〝秒〟が点滅していますか？

※セットモードのときⓁボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示（24Hが点灯）とが切り替わります。

(2)Ⓒボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？

※セットモードのとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。



※時刻・カレンダーモードのとき「年」は表示されませんが、フルオートカレンダーのため「年」（西暦の下２桁）を合わせてください。（1985年～2029年までセットできます）

※曜日は、年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

(3)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅している表示が１つ進みましたか？

※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が１つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注）〝秒〟のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照

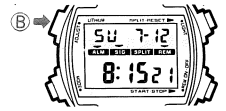




Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）、24時間制（24H）にご注意ください。

(4)セットが終わったら（どの個所が点滅していても）、Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。

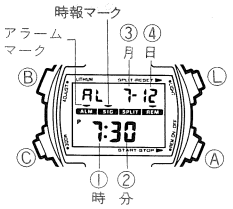


●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

アラームの使い方……操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、アラームモードにします。

確認 ⇨ AL の点灯

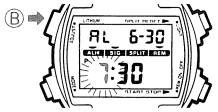
アラームモード



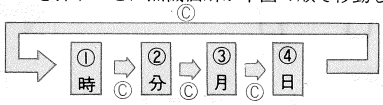
アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。月・日を指定するとその月日のセット時刻に、月・日を指定しないときは毎日セット時刻に鳴ります。
また、毎正時(00分のとき)を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

● セットのしかた

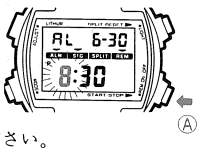
(1)アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)©ボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、時・分・月・日をセットします。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



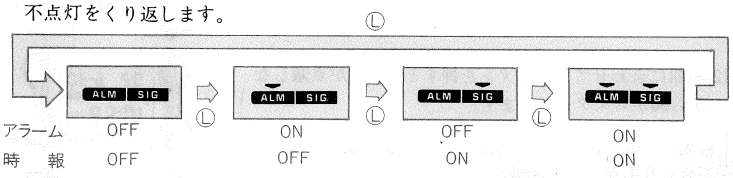
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。
注) 時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも24時間制表示となります。

(4)セットが終わりましたらⒷボタンを押してセット完了です。



● アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓛボタンを押すごとにアラームマーク ALM 、時報マーク SIG が以下の順で点灯、不点灯をくり返します。



● モニターアラーム
アラームモードでⒶボタンを押している間、電子ブザーが鳴ります。

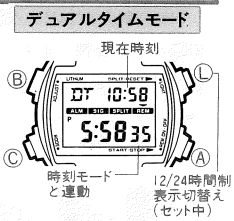
● 鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸのいずれかのボタンを押します。

● 月日のセット
月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日がかわります。
月・日セット →指定月日の指定時刻に鳴る。
月のみセット →指定月の1ヵ月間、指定時刻に鳴る。
日のみセット →月1回、指定日の指定時刻に鳴る。
月日セット無し →毎日指定時刻に鳴る。

デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

確認 ⇨ DT マークの点灯

デュアルタイムモード

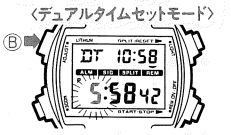


デュアルタイムとは基本時刻のほかに海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。

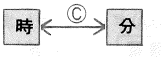
● 12/24時間制表示の切り替え
時刻・カレンダーモードとは別に切り替えができます。デュアルタイムセットモードのときⓁボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

● セットのしかた

(1)デュアルタイムモードのとき、Ⓑボタンを押すとデュアルタイムセットモードとなり、「時」が点滅します。



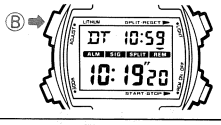
(2)©ボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。
※秒は時刻・カレンダーモードの時刻に連動しています。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、©ボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押してデュアルタイムモードに戻します。



● 自動復帰機能
時刻セットモードやアラームモード、デュアルタイム、タイマーのセットで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にそのモードのノーマル状態に戻ります。

タイマーの使い方……操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、タイマーモードにします。

確認 ⇨ TR マークの点灯

タイマーモード



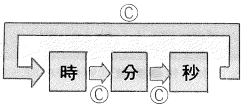
タイマーは秒単位で最大24時間までセット でき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

● セットのしかた

(1)タイマーモードのとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)©ボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、©ボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットします。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。
※持ち時間を24時間にセットするときは表示を〝0:00'00〟にします。



(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押してセット完了です。
Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を秒単位で表示します。
※操作確認音が鳴ります。



● ロスタイムがある場合
減算計測中、Ⓐボタンはスタート/ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

● リピート(繰り返し)計測
タイムアップ後(残り時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。
計測の途中で最初からやり直すときは、計測ストップ後Ⓛボタンを押します。

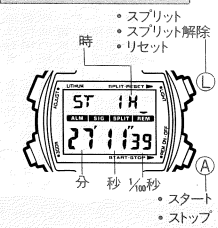
● オートリピート(自動繰り返し)計測
持ち時間のセットのとき(表示が点滅中)、Ⓛボタンを押すごとにオートリピートマーク〝AUTO〟が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート中はタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。
※オートリピート中に10秒以下をセットした場合は、1秒間だけ電子ブザーが鳴ります。

● 鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸいずれかのボタンを押します。

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認 ⇨ ST マークの点灯

ストップウオッチモード



ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

● 通常の計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

● スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート → Ⓛ スプリット計測 → Ⓛ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

● 1着・2着のタイム計測

Ⓐ スタート → Ⓛ 1着がゴール(1着タイム表示) → Ⓐ 2着がゴール → Ⓛ 2着タイム表示 → Ⓛ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前/午後
カレンダー表示＝月・日・曜日　フルオートカレンダー(1985年～2029年)
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝秒　セット単位＝秒　電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝24時間　計測機能＝通常計測・積算計測・オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、デュアルタイムセット機能、タイマーセット機能、リマインダーセット機能、タイマー自動リピートセット機能
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR－2016（電池別途販売）
電池寿命：約5年（1日当たり電子ブザーを20秒、ライトを1秒使用した場合）